

研究成果報告書

2024年 8月 28日

1. 所属・職・氏名 等

地域社会学科・准教授・佐藤惣哉

2. 研究課題（テーマ）名

（長期の研究課題）教育投資による人的資本蓄積と経済成長に関する実証的研究

（今年度の研究課題）高度外国人材の活用と経済成長の関係性についての実証的研究

3. 研究期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

4. 利用した研究費の種類及び金額

若手教員研究推進交付金 100,000円

5. 研究の概要

一般的に「人的資本蓄積と経済成長の関係性」とは、自国での教育を受けて人的資本が蓄積することによって生産性が向上し、経済成長に寄与するというストーリーであるが、留学生のように他国で教育を受けた優秀な人材が高度外国人材として日本に来て経済成長に寄与するという、いわば「人的資本の輸入」のような状況も広義の意味では「人的資本投資」に該当するのではないかと考える。本来であれば研究者や技術者など海外の優秀な人材が直接来ることが望ましいが、それだけでは英語圏ではない日本は特に国際的な人材獲得競争には負けてしまう可能性が高い。そのため、将来の高度外国人材の候補となる留学生を受け入れて育成し、日本に高度人材として残ってもらうということも重要なのではないかと考える。つまり、日本に留学している外国人留学生は日本にとって将来の高度外国人材になり得る存在であり、留学生に対する教育の充実や就職サポートなどについても広い意味での「人的資本投資」になるのではないかと考えている。

今年度は、将来的な候補となる留学生を含めた高度外国人材を活用することにより経済成長に寄与するとの仮説について実証的な研究手法を用いて検証することを目的とし、研究を行った。

6. 研究成果等

今年度は就任初年度ということもあり、研究計画書に記載したように次年度以降の本格的な始動に向けた準備段階とする計画であった。今年度の研究課題である「高度外国人材の活用と経済成長の関係性についての実証的研究」に関連する文献調査を行い、所属する学会に参加し研究報告を聞き、他の研究者との交流を行うことは出来た。文献調査や学会参加、他

の研究者との交流を通じて、今後の研究のヒントを得ることは出来たが、可視化できるような具体的な成果を上げることはできず、科研費の応募も諸事情により断念することとなってしまった。

7. 研究の実績（論文・発表 等）

研究成果等の部分で言及した通り、今年度は諸事情により論文や学会発表などは実施することが出来なかった。また、科研費の応募も見送ることとなった。次年度については科研費の応募を行うこと、さらには他の研究者との交流から共同研究を行うことを視野に活動し、何らかの形で研究成果を公表することを目標としたい。今後の予定としては以下の通りである。論文投稿は次年度中の学内紀要への投稿もしくは、2025 年度中に外部の学術雑誌への投稿を目標に行う予定である。また、学会発表や研究会については論文執筆と並行して行う予定だが、諸事情により 2025 年度での報告となる見通しである。